

<研究課題名>		A-0808 (Bc-088)	統合評価モデルを用いた気候変動統合シナリオの作成及び気候変動政策分析	
<研究概要> <p>本研究は、これまでにAIM（アジア太平洋地域における温暖化対策分析モデル）のモジュールとして構築してきたモデル群を対象に、最新の科学的知見を反映するように個々のモデルを改良する作業や、複数のモデルの統合を行い、気候変動による各種フィードバック効果も考慮しつつ、温室効果ガスの排出、気温上昇、温暖化影響に関する一貫性を持った世界シナリオの開発を行う。また、世界シナリオに大きな影響を及ぼすアジア主要国を対象に、国別シナリオを作成することを目的として、世界シナリオの結果を各国別に詳細に表示する詳細化モデルの開発、大気汚染モデルの開発、及びそれらの統合化を行い、各国における温暖化対策の効果と影響について分析を行う。</p> <p>(1) 統合評価モデル開発と世界排出シナリオ、気候変動統合シナリオの作成 これまでに開発してきたAIMの個々のモデルを改良、統合することで、すべての温室効果ガス排出量を考慮に入れた社会・経済シナリオの作成や、地球温暖化の影響も統合した気候変動統合シナリオの開発を世界全体を対象に行う。また、わが国を対象とした温暖化対策の効果分析を行うためのモデルの改良作業もを行い、わが国における温暖化対策の効果（温室効果ガス排出量の削減や経済影響）について、改良したモデルを用いて分析する。</p> <p>(2) 排出シナリオの詳細化に関する分析 本サブテーマでは、アジア各国において温暖化対策を推進することを目的として、サブテーマ(1)の世界排出シナリオを詳細化するモデルの開発を行う。具体的には、都市や地域等を対象に、温暖化対策の副次的効果を明らかにする大気汚染モデルの改良を行い、アジア各国に適用する。また、将来の温室効果ガス排出削減量を各国に割り当てるモデルを開発し、温暖化対策の分担について分析を行う。</p> <p>(3) 国別排出シナリオの作成 アジア主要国（中国、インド、タイ）を対象にこれまでに開発してきたAIM/Enduseモデルの構造を改良し、将来技術に関するデータベースを更新することで、各国を対象とした温暖化対策やIPCC新シナリオに対応する各国の将来シナリオを開発することを目的とする。各国の研究協力先は、中国：エネルギー研究所、インド：インド経営大学院アーメダバード校、タイ：アジア工科大学をそれぞれ予定している。</p>				
<研究代表者>		増井 利彦		独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究領域 室長（39才）
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	統合評価モデル開発と世界排出シナリオ、気候変動統合シナリオの作成	◎	増井 利彦	国立環境研究所社会環境システム研究領域 室長
			肱岡 靖明	国立環境研究所社会環境システム研究領域 主任研究員
			花崎 直太	国立環境研究所社会環境システム研究領域 研究員
			甲斐沼美紀子	国立環境研究所地球環境研究センター 室長
			藤野 純一	国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員
			花岡 達也	国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員
			高橋 潔	国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員
(2)	排出シナリオの詳細化に関する分析	○	松岡 譲	京都大学大学院工学研究科 教授
			倉田 学児	京都大学大学院工学研究科 准教授
			河瀬 玲奈	京都大学大学院工学研究科 助教
(3)	国別排出シナリオの作成	○	日比野 剛	みずほ情報総研株式会社環境・資源エネルギー部 シニアマネジャー
			岡 和孝	みずほ情報総研株式会社環境・資源エネルギー部 チーフコンサルタント
			藤原 和也	みずほ情報総研株式会社環境・資源エネルギー部 コンサルタント